

News Release

2013年5月9日

報道資料

～親機と子機に大きなボタンと見やすい表示、ワンタッチダイヤルを搭載～
デジタルコードレス留守番電話機「TF-SE10 シリーズ」を新発売

商品名	型番	カラー	希望小売価格	発売時期
デジタルコードレス留守番電話機	TF-SE10S-W (子機 1 台付)	ホワイト	オープン価格	5 月下旬
	TF-SE10W-W (子機 2 台付)	ホワイト	オープン価格	
	TF-SE10T-W (子機 3 台付)	ホワイト	オープン価格	
増設子機	TF-EK31-W	ホワイト	14,000 円(税込)	



【TF-SE10S-W】

【企画意図】

パイオニアは、大きなボタンと見やすい表示、ワンタッチダイヤルを親機と子機に採用した簡単操作で使いやすいデジタルコードレス留守番電話機「TF-SE10 シリーズ」を発売します。

「TF-SE10 シリーズ」は、数字を大きく表示する画面やワンタッチダイヤル(5 件)、短縮ダイヤル(20 件)を搭載しています。また、手書きで記入できる付属のワンタッチダイヤル用のお名前シートを使えば、登録先を一目で確認できるので、簡単に電話をかけられます。子機には 1.8 インチの大型液晶や使いやすいボタンレイアウトを採用し、ワンタッチダイヤル(3 件)を搭載することで、従来モデル(TF-EV350D)に比べ、視認性と操作性を向上させています。着信時に相手の声を確認してから電話に出ることができる「まかせて応答」機能を搭載しているので、安心して電話に出ることができます。

1.9GHz の周波数帯を使用する“DECT^{※1} 準拠方式”の採用により、電子レンジや無線 LAN などの 2.4GHz 周波数帯を使用する機器との電波干渉を軽減し、良好な通話品質を実現しています。この無線通信方式を利用した、離れて暮らす家族を見守るハッピーセンサー“まもるとあかり”「TF-TA51HS-W」(別売)や、光と音で着信を知らせる“フラッシュベルエアー”「TF-TA31FA-W」(別売)などと組み合わせて使用することも可能です。

※1 DECT(Digital Enhanced Cordless Telecommunications)は ETSI(欧州電気通信標準化機構)が 1988 年に策定したデジタルコードレス電話の規格であり、世界で広く普及している無線通信方式のひとつです。本製品は ARIB(一般社団法人電波産業会)の標準規格「ARIB STD-T101」に準拠しています。

【主な特長】

1) 親機に大きな数字の液晶画面と大きなボタンを採用

当社従来モデル^{※2}の特長を継承しています。数字を大きく表示するとともに大きなダイヤルボタンと音量ボタンを採用することで、見やすさと使いやすさを実現しました。

2) 便利なワンタッチダイヤルを親機(5件)・子機(3件)に搭載

ワンタッチダイヤルを親機(5件)と子機(3件)に搭載し、親機には短縮ダイヤル(20件)も搭載しています。手書きで記入できるワンタッチお名前シート(親機のみ)を使えば、登録先を一目で確認できるので、電話を簡単にかけることができます。

3) 子機に1.8インチ大型液晶と大きく押しやすいボタンを採用

従来モデル比^{※2}約2倍のサイズで視認性に優れた1.8インチ大型液晶を採用した子機は、ダイヤルボタンを大きくし、数字も見やすくなっています。さらに、ワンタッチダイヤルボタンも押しやすい位置にレイアウトすることで、見やすさと使いやすさを向上させました。カタカナ電話帳(100件)も搭載しています。

4) 迷惑電話ガード機能「まかせて応答^{※3}」を搭載

着信時に、受話器を取らずにボタンを押すことで、相手の名前と用件を確認するメッセージを流し、相手の声を確認してから電話に出ることができるので、迷惑電話にも安心して対応できます。「非通知ガード^{※4}」や「特定番号ガード^{※4}」などの迷惑電話を拒否するガード機能も搭載しています。

5) 他の家庭用電子機器との電波干渉を軽減する“DECT 準拠方式”を採用

1.9GHzの周波数帯を使用する“DECT 準拠方式”を採用しており、電子レンジや無線LANなどの2.4GHz周波数帯を使用する機器との電波干渉を軽減して、良好な通話品質を実現しています。

6) 高齢者とご家族に安心の電話機アクセサリ(別売)に対応

離れて暮らす家族を見守るハッピーセンサー“まもるとあかり”「TF-TA51HS-W」(別売)や、光と音で着信を知らせる“フラッシュベルエアー”「TF-TA31FA-W」(別売)など、“DECT 準拠通信方式”を利用した電話機アクセサリと組み合わせることで、高齢の方や離れて暮らすご家族に便利にお使いいただけます。

7) その他の特長

- ・ドアホン対応
- ・通話録音機能(親機、子機)
- ・壁掛け対応^{※5}(親機、子機)
- ・設定時間にアラームを鳴らす「モーニングコール」機能(子機)
- ・待機時消費電力を抑えた(0.8W)、環境に配慮した省エネ設計(子機)

【TF-SE10 シリーズの主な機能】

■電話帳機能	
電話帳タイプ	子機カタカナ電話帳 100件
電話帳コピー	子機⇄子機
短縮ダイヤル	親機:20件
ワンタッチダイヤル	親機:5件 子機:3件
■ホームテレホン機能	
子機間通話/子機間転送	○(子機2台以上)
内線ネーム呼出	○(子機)
三者通話	○
一斉呼出	○(子機2台以上)
■ナンバー・ディスプレイ対応機能^{※4}	
着信時番号表示	○(親機・子機)
キャッチホン・ディスプレイ対応	○
着信履歴	親機、子機 各30件
迷惑電話ガード機能	非通知ガード、公衆電話ガード、表示圏外ガード、特定番号ガード(30件)
鳴り分け	6種類(親機:一括、子機:個別設定)
■その他の機能	
まかせて応答 ^{※3}	○(親機)
かんたんガード ^{※3}	○(その着信に限りワンタッチでガード)
盗聴防止機能 ^{※6}	○
子機増設	付属の子機を含めて最大4台
保留メロディ	1曲(曲名:花のワルツ)
バックライト付液晶ディスプレイ	○(親機・子機)

ハンズフリー通話	○(子機)
モーニングコール	○(子機)
発信履歴(リダイヤル)	親機・子機 各 10 件
呼出音量切替	親機・子機 各 4 段階+消音
呼出音切替	親機・子機 各 6 種類
受話音量切替	親機 4 段階・子機 4 段階
受話音質切替	子機 3 段階
スピーカー音量設定	親機 4 段階・子機 4 段階
携帯通話プリセット機能(0033)	○
フラッシュベルエアー対応 ^{※7}	○
ハッピーセンサー対応 ^{※7}	○
壁掛け対応 ^{※5}	○(親機・子機)
通話録音	○(親機・子機)
■留守番機能	
DSP 方式録音	最大約 11 分
新規留守用件表示	○(親機・子機)
居留守モニター	○(子機は同時に 2 台まで)
自作応答メッセージ	○(1 種類 最大約 30 秒)
固定応答メッセージ	○(1 種類)
外出先からのリモコン操作	○(トールセーバ ^{※8} 対応)

※2 TF-EV350D シリーズ比

※3 「まかせて応答」「かんたんガード」は「ナンバー・ディスプレイ」サービスの契約なしでご利用になれます。

※4 NTT 東日本・NTT 西日本の「ナンバー・ディスプレイ」サービスの申し込みが必要です。

※5 子機の壁掛けには、別売りの壁掛けネジが必要です。また親機の壁掛けには、別売りの壁掛けアダプター「TF-WA5」が必要です。

※6 第三者が特殊な手段を講じた場合には傍受される可能性があります。

※7 フラッシュベルエアー「TF-TA31FA-W」、ハッピーセンサー「TF-TA51HS-W」は別売りです。

※8 外出先から電話をかけた際、応答メッセージが流れるまでの呼出音の回数で、新しい用件の有無を確認できる機能。

【TF-SE10 シリーズの主な仕様】

	親機	子機
使用周波数	1,895.616 MHz ~ 1,902.528 MHz の帯域	
電源	AC100 V (50/60 Hz)	DC2.4 V (Ni-MH 電池)
使用時間 /充電完了時間	-/-	待受約 180 時間・連続通話約 6 時間 /充電完了約 10 時間
消費電力	最大 約 2.7 W/留守待機時 約 1.6 W	充電器充電時 約 0.8 W
寸法 (幅×高さ×奥行)	約 188 mm×73 mm×206 mm	子機 : 約 48 mm×176 mm×30 mm 充電器 : 約 85 mm×42 mm×90 mm
質量	約 660 g(付属品除く)	子機 : 約 140 g(充電電池を含む) 充電器 : 約 140 g

◆電波の干渉について

本機の使用周波数帯では、PHS の無線局のほか、異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。本機は同一周波数を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮していますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の AC アダプターを抜いてパイオニアコミュニケーションズ(株) お客様相談室にご連絡いただき、混信回避のための処置等についてご相談ください。